高市所信表明演説にみる「成長戦略と無形資産投資」の転換点

2026年10月の高市首相所信表明演説は、「責任ある積極財政」を掲げ、従来の単年度主義から複数年度投資への本格転換を示しました。公的支援獲得に「勝ち筋」の提示を求めるなど、知財・無形資産を軸とした事業成長と安全保障の強化を強く促しています。

政策・財政枠組みの3大改革



概算要求シーリングの撤廃と別枠管理

複数年度計画に基づき、長期回収を要する先端R&Dや知財網構築への投資を担保。

公的支援獲得への「勝ち筋」提示の義務化

「技術で勝ってビジネスでも勝つ」ため、特許・標準化・事業モデルの一体化を要求。

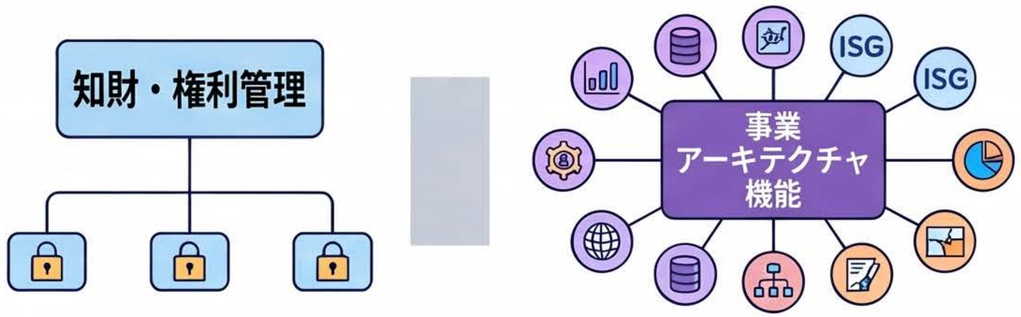




「日本版DOGE」による行政支出の適正化

効果の薄い事業を排除し、真に企業価値向上へ寄与する無形資産形成へ集中投資。

企業行動と資本市場への波及効果



知財部門の「事業アーキテクチャ機能」への進化

単なる権利管理から、データ基盤や標準化を含めた事業ポートフォリオ全体の設計者へ。



資金集中・成長



遊離・淘汰危機

企業の「二極化」推進

収益化ストーリーを描ける企業に資金が集中する一方、

遊離した企業は淘汰の危機に。

Gemini Notebook